

平成30年度
卓越大学院プログラム プログラムの基本情報 [採択時公表。ただし、項目11、12については非公表]

機関名		機関番号						
1. 全体責任者 (学長)		※ 共同申請のプログラムの場合は、全ての構成大学の学長について記入し、申請を取りまとめる大学(連合大学院によるもの場合は基幹大学)の学長名に下線を引いてください。 (ふりがな) 氏名・職名						
2. プログラム責任者		(ふりがな) 氏名・職名						
3. プログラム コーディネーター		(ふりがな) 氏名・職名						
4. 設定する領域	最も重視する領域 【必須】	※領域を選択						
	関連する領域(1) 【任意】	※領域を選択						
	関連する領域(2) 【任意】	※領域を選択						
	関連する領域(3) 【任意】	※領域を選択						
5. 主要区分	最も関連の深い区分 (大区分)	※区分を選択						
	最も関連の深い区分 (中区分)		#N/A					
	最も関連の深い区分 (小区分)		#N/A					
	次に関連の深い区分 (大区分)【任意】	※区分を選択						
	次に関連の深い区分 (中区分)【任意】		#N/A					
	次に関連の深い区分 (小区分)【任意】		#N/A					
6.	プログラム名称							
	英語名称							
7.	授与する博士学位分野・名称							
8.	学生の所属する専攻等名 (主たる専攻等がある場合は下線を引いてください。)							
9. 連合大学院又は共同教育課程による申請の場合、その別 ※該当する場合には○を記入								
連合大学院		共同教育課程						
10. 連携先機関名(他の大学、民間企業等と連携した取組の場合の機関名、研究科専攻等名)								
11. 補助金申請額と間接経費の合計額(単位:千円)千円未満は切り捨てる ※共同申請する取組の場合、「申請金額」欄()内に共同実施機関で使用する金額を記載してください。<内には申請金額全体に占める割合(%)が表示されます。								
年度(平成)	30	31	32	33	34	35	36	合計
合計額(千円)	()	()	()	()	()	()	()	()
(%)	< >	< >	< >	< >	< >	< >	< >	< >

(機関名: プログラム名称:)

平成30年度
卓越大学院プログラム 計画調書

[採択時公表]

(1) プログラムの全体像【1ページ以内】
(申請するプログラムの全体像を1ページ以内で記入してください。)

ポンチ絵は不要です。

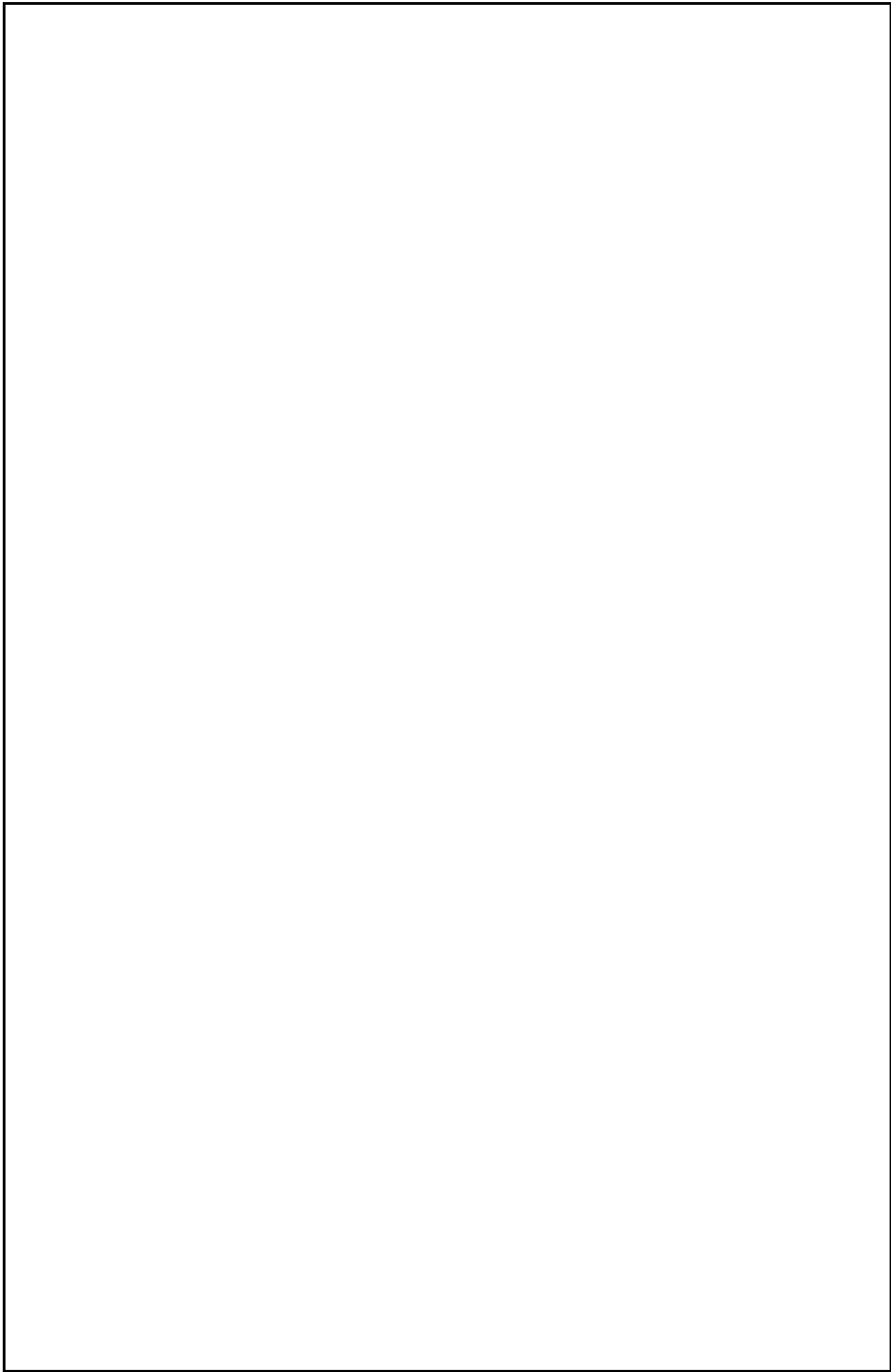
(機関名 :

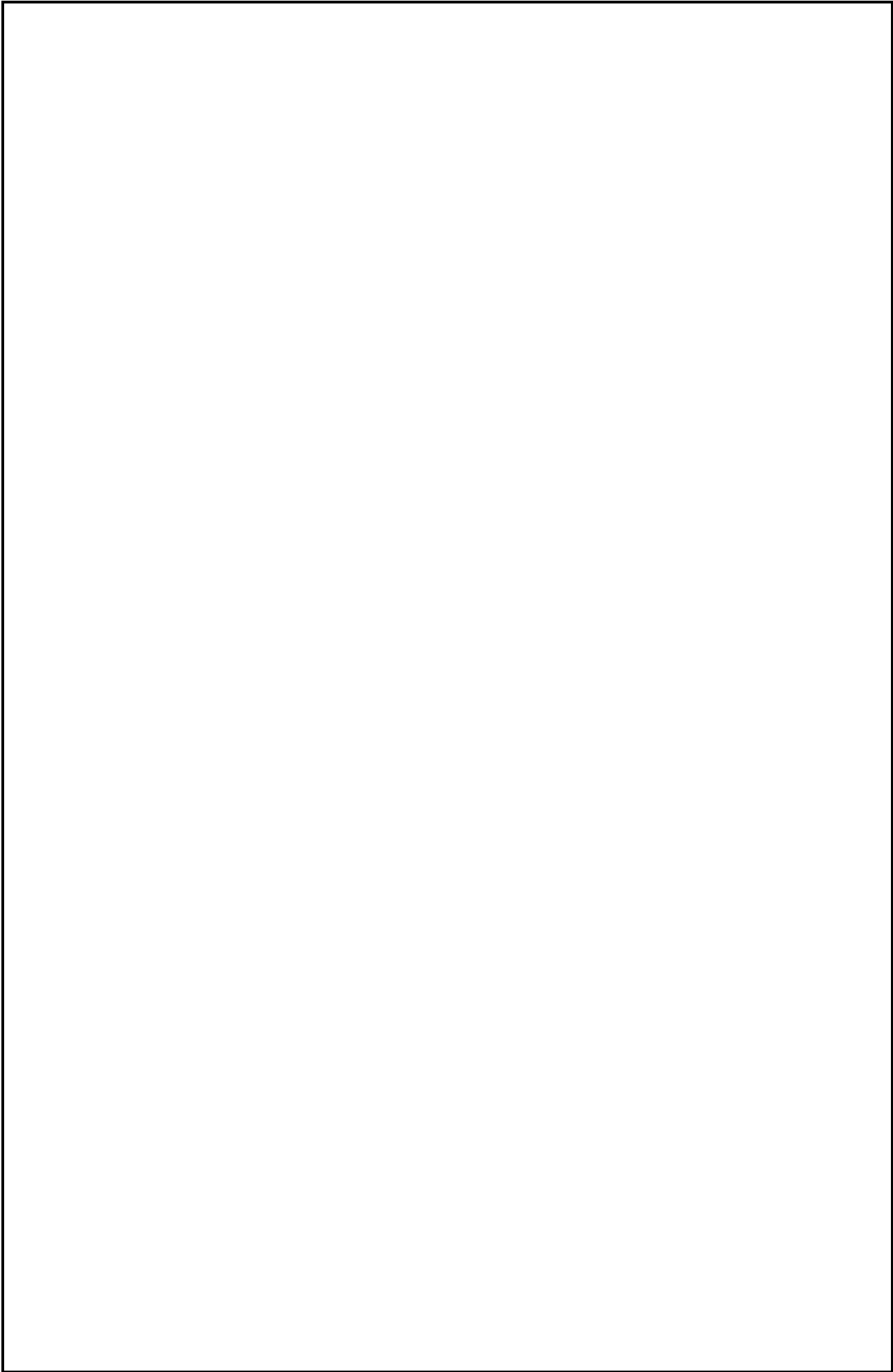
プログラム名称 :


)

(2) プログラムの内容【4ページ以内】

(国内外の優秀な学生を、高度な「知のプロフェッショナル」、すなわち、俯瞰力及び独創力並びに高度な専門性を備え、大学や研究機関、民間企業、公的機関等のそれぞれのセクターを牽引する卓越した博士人材へと育成するため、国際的に通用する博士課程前期・後期一貫した質の保証された学位プログラムを構築・展開するカリキュラム及び修了要件等の取組内容を記入してください。また、人材育成上の課題を明確にした上で、その課題解決に向け検証可能かつ明確な目標を、プログラムの目的にふさわしい水準で設定し、さらに、目標の達成のために申請大学全体の大学院システムをどのように変革するかを明確に記入してください。)







※プログラムの内容が分かるようにまとめたポンチ絵（1ページ以内）を別途添付してください。
（文字数や行数を考慮する必要はありません。）

（機関名：

プログラム名称：

）

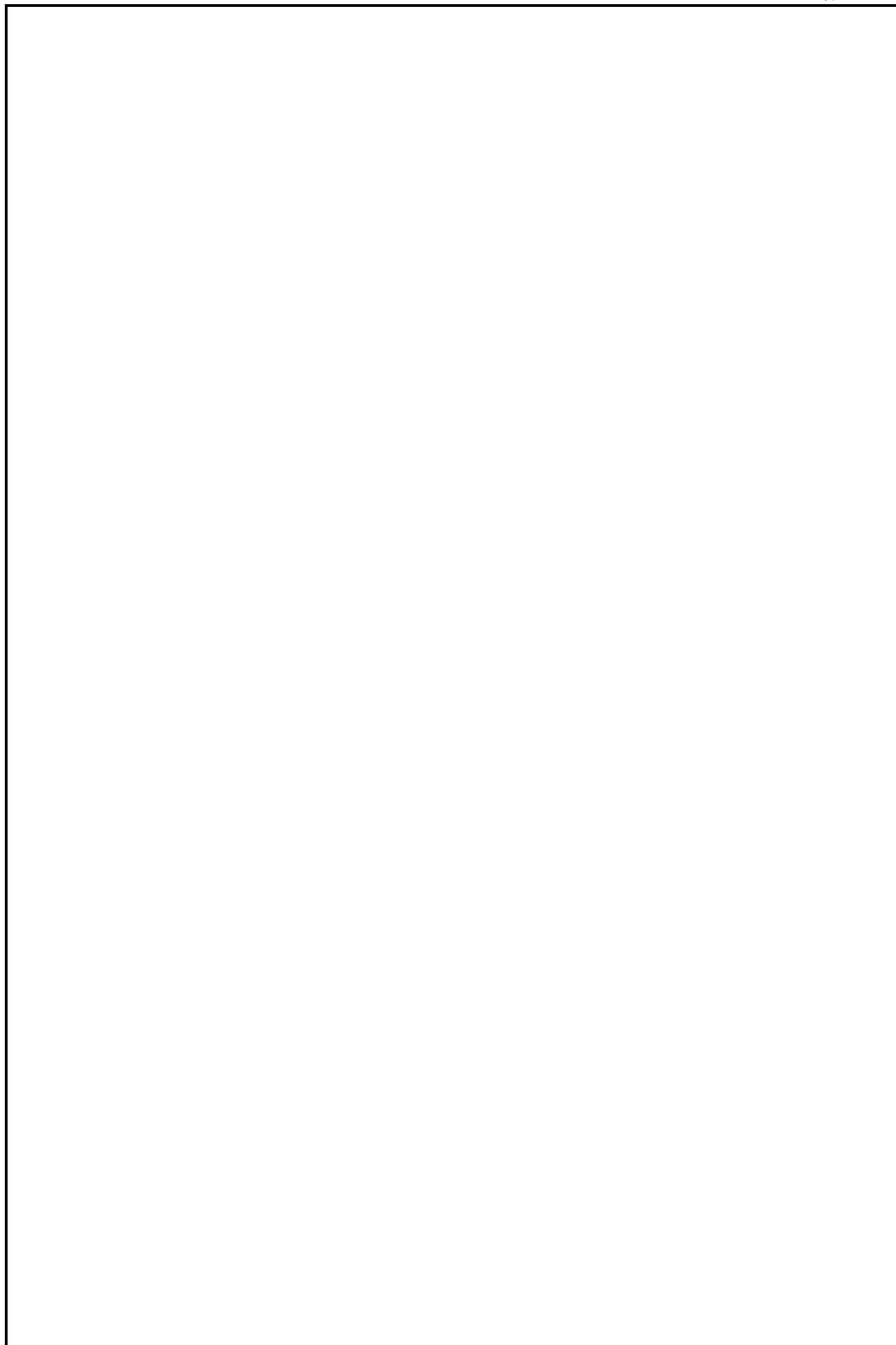
◎プログラムとして設定する検証可能かつ明確な目標【1 ページ以内】

項目	内容	備考
(例) ○○分野の国際学会 における発表者数	平成 30～31 年度 一名 平成 32 年度 ○名／年 平成 33～36 年度 ○名／年	M2 以上の学生に課す○○ ○プロジェクトの結果等を 活用し、特に優秀な学生は M2 から成果を発表するこ とを想定。

※適宜行を追加・削除してください。

(3) プログラムの特色、卓越性、優位性【2ページ以内】

(「最も重視する領域」を中心に、申請するプログラムが国際的な観点から見て有している特色、卓越性、優位性に関して記入してください。)



※プログラムの特色、卓越性、優位性分かるようにまとめたポンチ絵（1 ページ以内）を別途添付してください。（文字数や行数を考慮する必要はありません。）

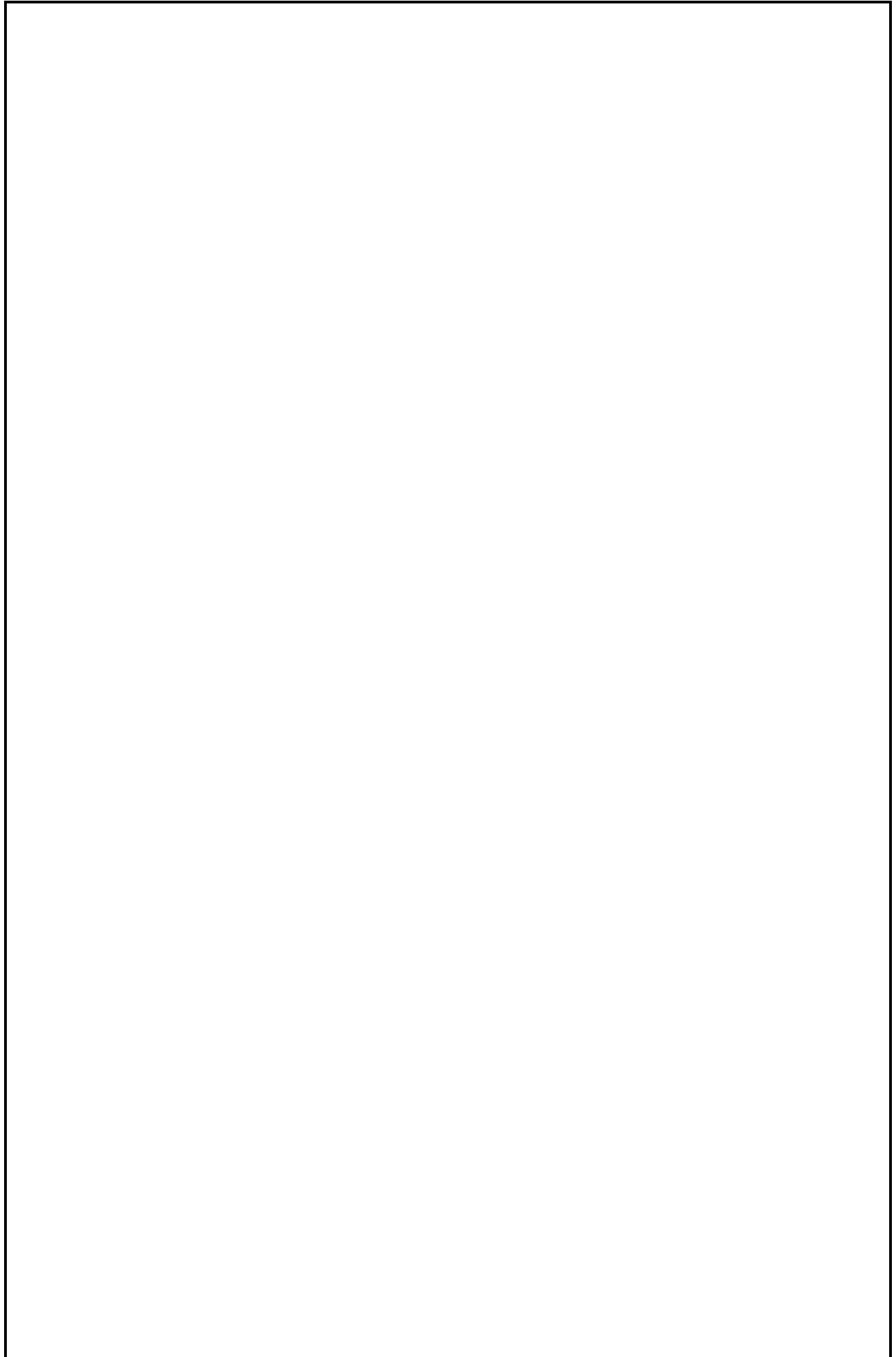
（機関名：

プログラム名称：

）

(4) 学長を中心とした責任あるマネジメント体制【2ページ以内】

(学長を中心として構築される責任あるマネジメント体制を確保するための取組、大学全体の中長期的な改革構想の中での当該申請の戦略的な位置づけ、高度な「知のプロフェッショナル」を輩出する仕組みの継続性の担保と発展性の見込みについて記入してください。)



ポンチ絵は不要です。

(機関名 :

プログラム名称 :

)

(5) 学位プログラムの継続、発展のための多様な学内外の資源の確保・活用方策【1 ページ以内】
(学位プログラムの継続、発展のための学内外の資源の確保・活用方策について記入してください。)

ポンチ絵は不要です。

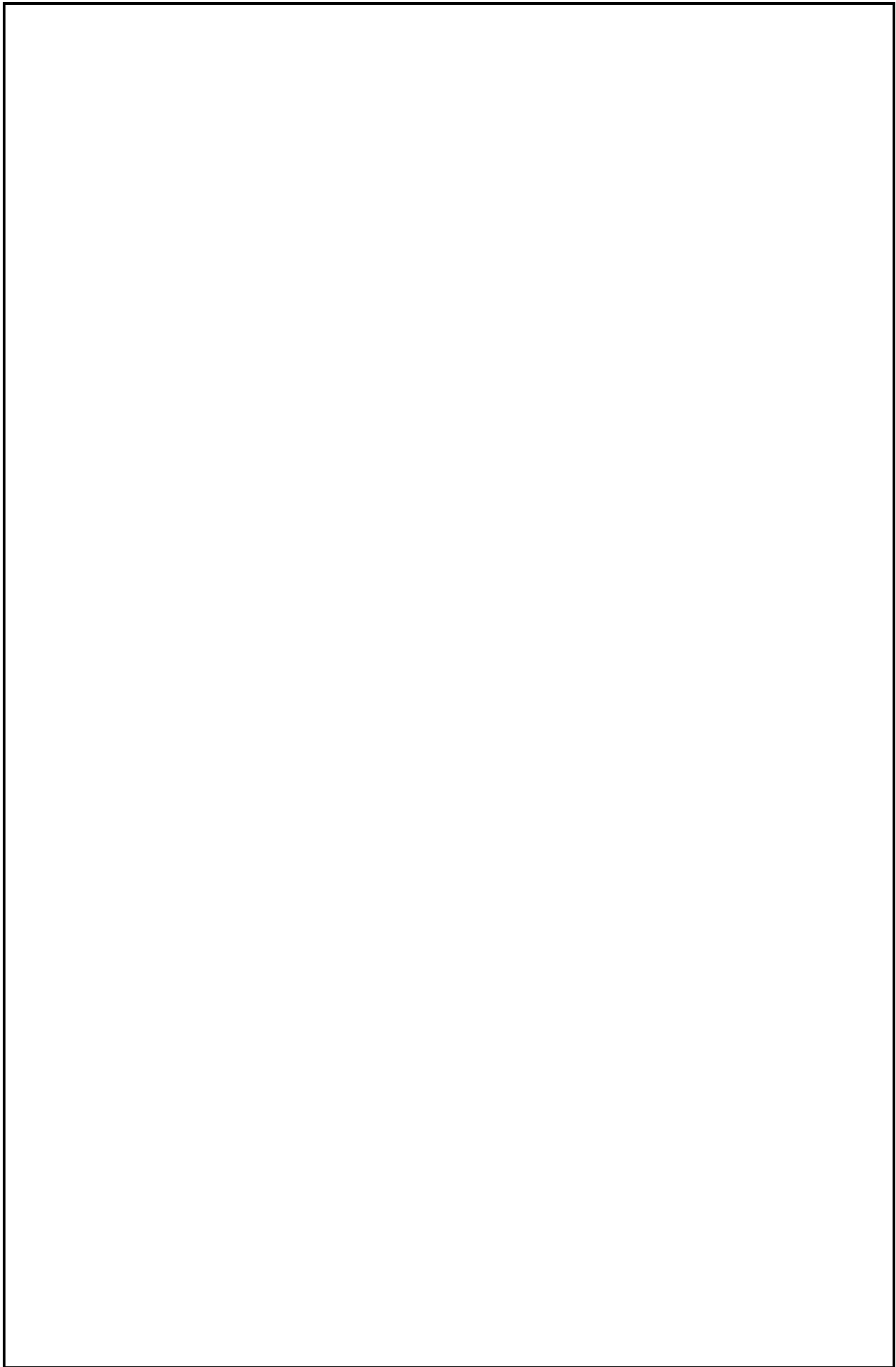
(機関名 :

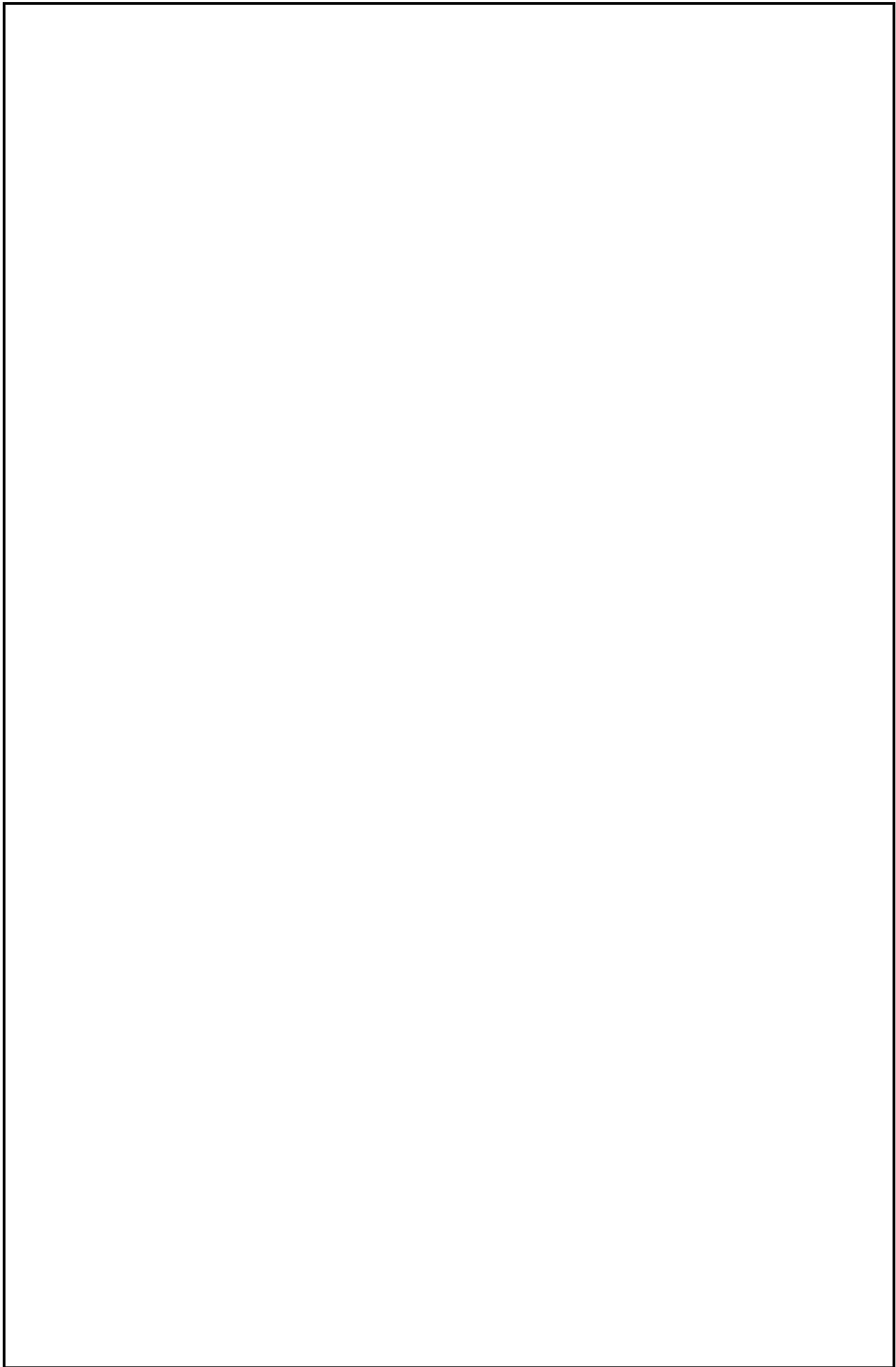
プログラム名称 :

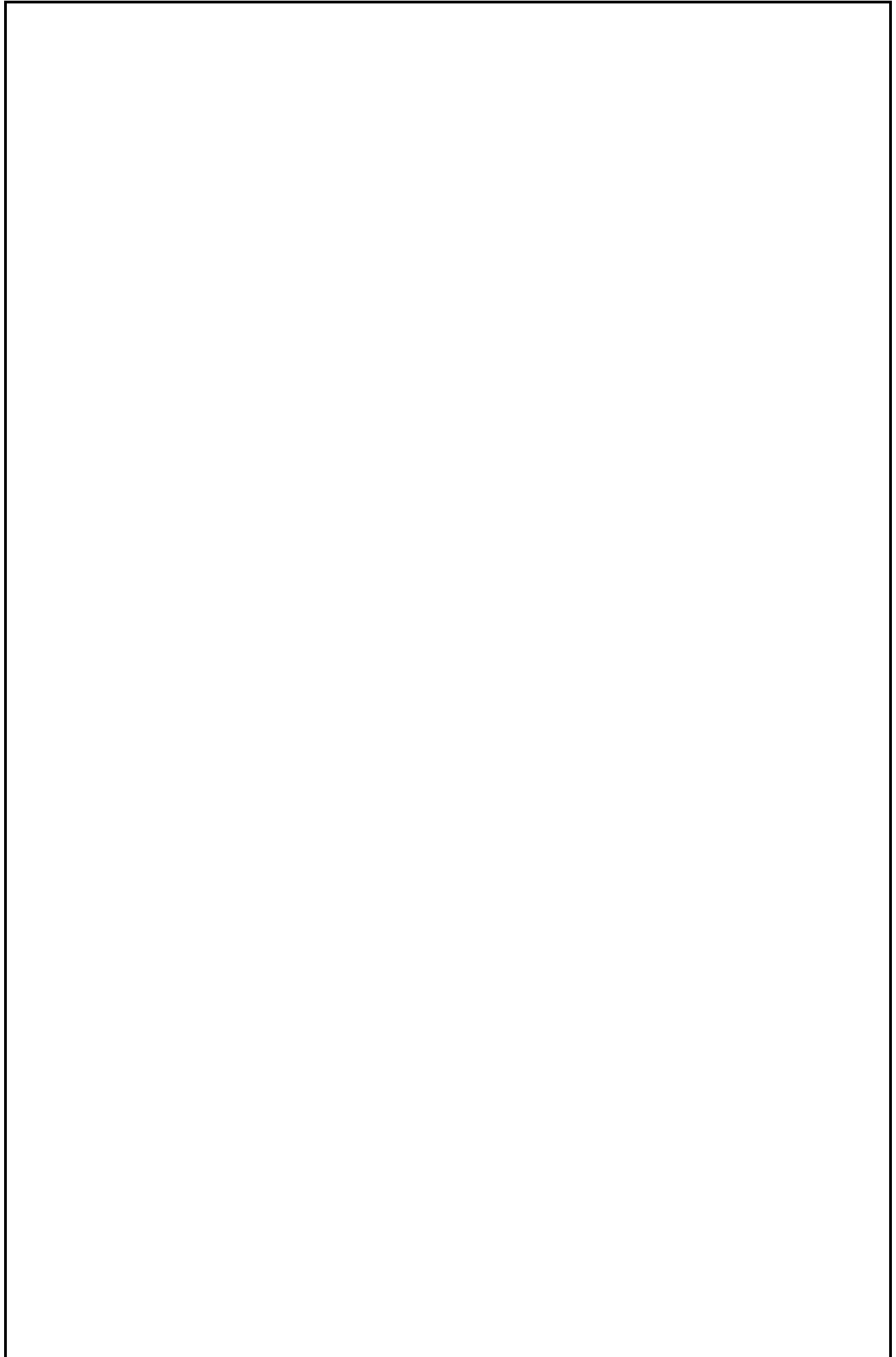
)

(6) 個別記載事項その他、プログラム全体を通じての補足説明【4ページ以内】

(個別記載事項に該当する事項のうち、ここまでの説明では用いられておらず更に説明を要する点や、その他分野の特性等の説明を要する内容について、自由に記述してください。)







ポンチ絵は不要です。

(機関名 :

プログラム名称 :

)

(7) 大学院教育研究に係る既存プログラムとの違い【1 ページ以内】
<プログラム担当者が、大学院教育研究にかかる既存のプログラムを継続実施中の場合のみ記載。それ以外の場合は該当なしと記載。>
(現在国の教育・研究資金により継続実施中である大学院教育研究に係るプログラム(博士課程教育リーディングプログラム、その他研究支援プロジェクト等)に、当該申請のプログラム担当者が関わっている場合(プログラム責任者として複数プログラムに関与している場合を除く)には、当該プログラム及び関与しているプログラム担当者の氏名を明記の上、プログラムの内容、対象となる学生、経費の使用目的等、本プログラムとの違いを明確に説明してください。
特に博士課程教育リーディングプログラムについては、国の補助期間が終了している場合についても、継続されているプログラムとの違いを上記にならない記述してください。)

ポンチ絵は不要です。

(機関名 :

プログラム名称 :

)

平成30年度

卓越大学院プログラム 教育研究実績・環境等に係る基礎データ

(1) 学位プログラムに関連する専攻の現状

① 関連専攻の入学定員等

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程の過去3年間の入学定員等について記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： _____

研究科・専攻名	課程区分	年度	入学定員	志願者数	入学者数	入学者のうち			修了者数	授与学位分野・名称
						外国人	社会人	自大学の同一分野出身者		
		H29								
		H28								
		H27								
		H29								
		H28								
		H27								
		H29								
		H28								
		H27								
		H29								
		H28								
		H27								
		H29								
		H28								
		H27								
		H29								
		H28								
		H27								
		H29								
		H28								
		H27								
		H29								
		H28								
		H27								

※関連専攻が多く欄が不足する場合や課程区分の欄が余る場合は、適宜行を追加・削除してください。

②関連専攻の博士論文名等一覧

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等のうち、主要区分に関わる専攻等において平成29年度に博士学位を授与した学生の博士論文名、主(任)指導教員を記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： _____

研究科・専攻名	番号	博士論文名	主(任)指導教員
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		

※関連専攻や論文数が多く欄が足りない場合は、適宜行を追加してください。

③関連専攻の教員組織

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程の平成30年5月1日現在の教員組織について記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： _____

研究科専攻名	課程区分	教授(名)		准教授(名)		講師(名)		助教(名)		合計(名)	
		専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任
	上記のうち外国人教員										
	専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		-		-		-		-		-
	上記のうち外国人教員										
	専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		-		-		-		-		-
	上記のうち外国人教員										
	専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		-		-		-		-		-
	上記のうち外国人教員										
	専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		-		-		-		-		-
	上記のうち外国人教員										
	専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		-		-		-		-		-
	上記のうち外国人教員										
	専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		-		-		-		-		-
	上記のうち外国人教員										
	専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		-		-		-		-		-
	上記のうち外国人教員										
	専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		-		-		-		-		-
	上記のうち外国人教員										
	専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		-		-		-		-		-

※関連専攻が多く欄が足りない場合は、適宜行を追加してください。

(2) 本プログラムの学生受入れ開始(予定)年月日

(3) 本プログラムの学生受入れ予定人数

各年度における本学位プログラムの在籍予定学生数(括弧内はうち課程の途中から編入を受け入れる予定数を記入してください。)

※「プログラムの基本情報」(様式1)の「7. 授与する博士学位分野・名称」に記載の学位を授与する予定の学生数を記入してください。

	博士前期課程 1年	博士前期課程 2年	博士後期課程 1年	博士後期課程 2年	博士後期課程 3年	計
H30	()	()	()	()	()	()
H31	()	()	()	()	()	()
H32	()	()	()	()	()	()
H33	()	()	()	()	()	()
H34	()	()	()	()	()	()
H35	()	()	()	()	()	()
H36	()	()	()	()	()	()

(4) 本プログラムによる学位授与数(年当たり)の目標

(5) 経済的支援の現状

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等の各課程において、平成29年度に給付型の経済的支援を受けた者の状況を記入してください。「在籍学生数」及び「経済的支援を受ける者」欄には実数を、各項目別の人数は延べ数を記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名：

研究科・専攻名	課程区分		在籍学生数	経済的支援を受ける者	TAとして採用されている者	RAとして採用されている者	フェロシップ・奨学金	うち	その他	授業料免除適用者数
								日本学術振興会特別研究員採用者		
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								

※関連専攻が多く欄が不足する場合や課程区分の欄が余る場合は、適宜行を追加・削除してください。

(7) 進路の現状

「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等における平成29年度修了者の進路状況(平成30年5月1日現在)について、データを集計の上、記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： _____

区 分	博士課程修了者(満期退学者を除く)		博士課程満期退学者	
	合計	うち、外国人	合計	うち、外国人
修了者数・満期退学者数				
① 進学者数				
② 就職者数				
②の内訳	大学の教員(助教・講師等)			
	公的な研究機関			
	その他公的機関			
	企業(研究開発部門)			
	企業(その他の職種)			
	ポスドク(同一大学)			
	ポスドク(他大学等)			
	学校の教員(大学を除く)			
その他				
③ 専修学校・外国の学校等入学者				
④ 一時的な仕事に就いた者				
⑤ ①～④及び⑥以外				
⑥ 死亡・不詳				

「② 就職者数」欄に記載の主な就職先

※ 海外の大学・機関である場合は、それが分かるように明示してください。

「④ 一時的な仕事に就いた者」欄に記載の主な就職先

「⑤ ①～④及び⑥以外」欄に記載の具体的な内訳

「⑥ 死亡・不詳」欄の事情、理由

※ 進路を把握できない特別な事情がある場合は記載してください。

(8) 申請大学の教育研究実績・環境等（特に国際的な実績）

※単に採択実績を示すだけでなく、大学がどのような教育研究上の国際競争力を持つかや、過去の事業等が大学の努力によりどのように補助期間終了後も継続され本申請に活かされているか、という観点で記載してください。共同申請を行う場合には、大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： _____

①教育活動の実績（申請大学の特筆すべき教育実績等）

②研究活動の実績（申請大学の特筆すべき研究実績等）

③産官学等連携の実績（申請大学の特筆すべき連携実績等）

(9) 連携先機関の教育研究実績・環境等

※連携先機関の教育研究実績・環境等をどのように本申請に活用するかという観点で記載してください。

①教育活動の実績（連携先機関の特筆すべき教育実績等）

②研究活動の実績（連携先機関の特筆すべき研究実績等）

③産官学等連携の実績（連携先機関の特筆すべき連携実績等）

(10) 学生の研究活動の状況

以下の①～③は「プログラムの基本情報」(様式1)の「8. 学生の所属する専攻等名」に記載した専攻等に係るデータを集計の上、記入してください。大学ごとにページを複製して作成してください。

大学名： _____

①博士課程学生の学会発表、学術雑誌等への論文等発表数

注1：平成29年度(29年4月～30年3月の期間)について作成してください。

注2：学会発表数の()内にはうち国外かつ外国語で行われたものを記入してください。

課程区分	学会発表数	在籍者に対する割合	レフェリー付き論文発表数	在籍者に対する割合
	回(回)	回/人(回/人)	件(件)	件/人(件/人)
	回(回)	回/人(回/人)	件(件)	件/人(件/人)

②博士課程学生の主な発表論文

(平成27～29年度(27年4月～30年3月の期間)における、専攻に所属する学生の主な発表論文(論文名、著者名、学会誌名、巻(号)、最初と最後の頁、発表年(西暦)の各項目を必ず記入)を記入してください。ただし、印刷済及び採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除きます。)

③研究費の獲得状況及び学会賞等各賞の受賞状況等

(平成27～29年度(27年4月～30年3月の期間)における、専攻に所属する学生が獲得した主な研究費(名称、期間、金額等)の獲得状況及び学会賞等(受賞名、受賞年等)の受賞状況について記入してください。また、当該専攻に所属する学生が在籍中に取得した特許や記載された新聞記事など、大学で特筆すべき研究成果と判断されるものがあれば、本欄に記入することが可能です。)

平成30年度

卓越大学院プログラム プログラム担当者調書

通し 番号	(フリガナ) 氏 名	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学 位	現在の専門
1	(プログラム責任者)			
役割分担				
コミット メント	博士課程教育の改革に向けた本プログラムの実施に当たっての関わり方や、各々の役割の中での力点などについて、 <u>本人が記入してください。</u>			
職歴				
教育研究 実績・資源 (特に国 際的な実 績)	<p>◆教育活動の実績(プログラム担当者の特筆すべき教育実績等)</p> <p>◆研究活動の実績(プログラム担当者の特筆すべき研究実績等)</p> <p>◆社会活動の実績(プログラム担当者の特筆すべき社会活動実績等)</p>			
エフオー ト予定	平成30年度における、本プログラムに割り当てる時間・労力の割合(エフォート)の予定を記入 〇〇割			

(機関名 :

プログラム名称 :

)

平成30年度

卓越大学院プログラム プログラム担当者調書

通し 番号	(フリガナ) 氏 名	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学 位	現在の専門
2	(プログラムコーディネーター)			
役割分担				
コミット メント	博士課程教育の改革に向けた本プログラムの実施に当たっての関わり方や、各々の役割の中での力点などについて、 <u>本人が記入してください。</u>			
職歴				
教育研究 実績・資源 (特に国 際的な実 績)	<p>◆教育活動の実績(プログラム担当者の特筆すべき教育実績等)</p> <p>◆研究活動の実績(プログラム担当者の特筆すべき研究実績等)</p> <p>◆社会活動の実績(プログラム担当者の特筆すべき社会活動実績等)</p>			
エフオー ト予定	平成30年度における、本プログラムに割り当てる時間・労力の割合(エフォート)の予定を記入 〇〇割			

(機関名 :

プログラム名称 :

)

平成30年度

卓越大学院プログラム プログラム担当者調書

通し 番号	(フリガナ) 氏 名	機関名・所属(研究科・専攻等)・職名	学 位	現在の専門
3				
役割分担				
コミット メント	博士課程教育の改革に向けた本プログラムの実施に当たっての関わり方や、各々の役割の中での力点などについて、 <u>本人が記入してください。</u>			
職歴				
教育研究 実績・資源 (特に国 際的な実 績)	<p>◆教育活動の実績(プログラム担当者の特筆すべき教育実績等)</p> <p>◆研究活動の実績(プログラム担当者の特筆すべき研究実績等)</p> <p>◆社会活動の実績(プログラム担当者の特筆すべき社会活動実績等)</p>			
エフオー ト予定	平成30年度における、本プログラムに割り当てる時間・労力の割合(エフォート)の予定を記入 〇〇割			

(機関名 :

プログラム名称 :

)

平成30年度
卓越大学院プログラム 資金計画表

単位：千円

(機関名：
プログラム名称：

事業年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度
補助金申請額							
学内外資源	0	0	0	0	0	0	0
うち学内資源							
うち学外資源							
(参考)学内外資源の主な用途と財源							
計	0	0	0	0	0	0	0
学内外資源の対補助金比率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

・網掛け部分は自動計算のため、数値を入力しないでください。

平成30年度

卓越大学院プログラム 経費関係調書

<p><平成30年度></p> <p>年度の事業計画</p> <p>※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載 本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。</p>

<p>補助金申請額の明細</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。 用途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。 申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。 平成30年度は平成30年10月～平成31年3月の6ヶ月分の必要経費を申請してください。 <p style="text-align: center;"> { 記載例：研究打ち合わせ旅費 〇〇人×@〇〇円 〇〇千円 資料整理謝金 〇人×〇日×@〇〇円 〇〇千円 </p>				
<平成30年度計画>	経費区分	金額（千円）		備考
		申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
	【物品費】	0	0	
	【人件費・謝金】	0	0	
	【旅費】	0	0	
	【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
	【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
(平成30年度)	合計	0	0	
			0	

(機関名：

プログラム名称：

)

平成32年度

卓越大学院プログラム 経費関係調書

<p><平成32年度></p> <p>年度の事業計画</p> <p>※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載 本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。</p>

<p>補助金申請額の明細</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。 用途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。 申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。 <p style="text-align: center;">〔 記載例：研究打ち合わせ旅費 〇〇人×@〇〇円 〇〇千円 資料整理謝金 〇人×〇日×@〇〇円 〇〇千円 〕</p>				
<平成32年度計画>	経費区分	金額（千円）		備考
		申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
	【物品費】	0	0	
	【人件費・謝金】	0	0	
	【旅費】	0	0	
	【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
	【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
(平成32年度)	合計	0	0	
			0	

(機関名：

プログラム名称：

)

平成33年度

卓越大学院プログラム 経費関係調書

<平成33年度>

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

補助金申請額の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・用途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。
- ・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

〔 記載例：研究打ち合わせ旅費 〇〇人×@〇〇円 〇〇千円
資料整理謝金 〇人×〇日×@〇〇円 〇〇千円 〕

<平成33年度計画>	経費区分	金額（千円）		備考
		申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
	【物品費】	0	0	
	【人件費・謝金】	0	0	
	【旅費】	0	0	
	【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
	【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
(平成33年度)	合計	0	0	
			0	

(機関名：

プログラム名称：

)

平成35年度

卓越大学院プログラム 経費関係調書

<平成35年度>

年度の事業計画

※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載

本補助金の適切かつ効果的な使用計画（各経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の使用目的、必要性等）について、具体的かつ明確、簡潔に記載してください。

補助金申請額の明細

- ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
- ・用途は卓越大学院プログラムの目的に限定されます。
- ・申請（基幹）大学で使用する経費と共同実施機関で使用する経費を区分して記載してください。

〔 記載例：研究打ち合わせ旅費 〇〇人×@〇〇円 〇〇千円
資料整理謝金 〇人×〇日×@〇〇円 〇〇千円 〕

<平成35年度計画>	経費区分	金額（千円）		備考
		申請大学での 使用金額	共同実施機関での 使用金額	
	【物品費】	0	0	
	【人件費・謝金】	0	0	
	【旅費】	0	0	
	【その他（教育研究支援経費）】	0	0	
	【その他（教育研究支援経費以外）】	0	0	
(平成35年度)	合計	0	0	
			0	

(機関名：

プログラム名称：

)

平成30年度卓越大学院プログラム
申請資格の確認

大学名

○申請資格の確認について

下表 i) ~ vii) のいずれかに該当する大学は、本プログラムに申請できません。(連携して事業を行う機関も対象)。

i) ~ vii) について、各確認欄に「該当しない」を記入してください。

また、iv)、v) に関連することとして、表1及び表2をそれぞれ記入してください。

	番号	確認項目	確認欄
組織 運 営 関 係	i)	学生募集停止中の大学	
	ii)	学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学	
	iii)	「私立大学等経常費補助金」において定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学	
	iv)	平成29年度に実施した再推費におけるプログラムの事後評価において、「事業目的が達成できなかった」等の最も低い評価を受けた大学 (対象プログラムは表1のとおり。)	
	v)	平成29年度に実施した再推費におけるプログラムの中間評価で、「中止することが必要」等の最も低い評価を受けた大学 (対象プログラムは表2のとおり。)	
設 置 関 係	vi)	設置計画履行状況等調査において、「警告」が付されている大学	
	vii)	大学、大学院、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準(平成15年文部科学省告示第45号)第1条第3号の要件を満たしていない大学又は第2条第1号若しくは第2号のいずれかに該当する者が設置する大学	

「表1」「表2」で示す対象プログラムにおいて、評価の実施された事業の有無を記入してください。また、実施「有」とした場合は、実施件数を記入の上、評価の実施された事業名及びその評価結果を記入してください。

表1：平成29年度に実施した事後評価の結果、申請できない条件の対象となるプログラム

事業名	実施有無 ※1	実施件数	評価の実施された事業名※2	事後評価結果
博士課程教育リーディングプログラム（平成23年度採択）				
大学の世界展開力強化事業（ASEAN諸国との大学間交流形成支援）（平成24年度採択）				
大学間連携共同教育推進事業（平成24年度採択）				
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（平成24年度採択）				
成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT）（平成24年度採択）				
経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援（平成24年度採択）				

表2：平成29年度に実施した中間評価の結果、申請できない条件の対象となるプログラム

事業名	実施有無 ※1	実施件数	評価の実施された事業名※2	中間評価結果
スーパーグローバル大学創成支援（平成26年度採択）				
課題解決型高度医療人材養成プログラム（平成26年度採択）				
大学教育再生加速プログラム（AP）「高大接続改革推進事業」（平成26、27、28年度採択）				
大学の世界展開力強化事業（中南米等との大学間交流形成支援）（平成27年度採択）				
地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）（平成27年度採択）				

※1 申請大学として参加している事業は実施「有」、連携校として参加している事業は実施「無」として記入してください。

※2 各プログラムにおいて使用されている「構想名」「プログラム名称」「取組名」等、該当する事業を識別できる名称を記入してください。なお、事業名に相当するものがない場合は、「大学名」を記入してください。